

二軸破碎機MGシリーズ 金属スクラップ、ガレキ類、木材を強力破碎!



油圧式二軸破碎機 メガクラッシャー

MEGA CRUSHER

新開発した二軸強力モデルは、処理困難物の破碎を目的とし、破碎対象物は金属スクラップ、粗大ごみ、ガレキ類、廃木材等が対象です。主な特徴として、破碎負荷が高くなった場合にプースト装置(特許申請中)によりトルクをさらに高め、強力破碎を行う。また、負荷が低い場合には速度、圧力を制御し、消費電力を抑制しエコロジックな設計にもなっております。標準の電動モータータイプの他に、可搬式のパワーユニットタイプ、自走式タイプの販売も行っております。

ウエノテックス株式会社

本社 〒949-3298 新潟県上越市柿崎7396-10
TEL(025)536-2266(代) FAX(025)536-9836

お問い合わせ 関東営業所 TEL(048)590-1481
営業技術本部 鹿嶋営業所 TEL(080)5421-0609
TEL.025-536-3097 関西営業所 TEL(080)6680-3051

URL <http://www.uenotex.co.jp> E-mail: daihyo1@uenotex.co.jp

インフラの老朽化&高層ビルの解体

橋脚・水門・下水道管きょ・港湾岸壁・
PC板 撤去 困ったなあ～

予算も工期も大幅に
削減できたぞ!

重量物、長尺物のがれきの運搬、リサイクル
構造物を大きく壊して、
大きなまま運ぼう!

株式会社 黒 姫
広域環境開発 株式会社

〒121-0836 東京都足立区入谷3-9-18
TEL.03-3896-7111 FAX.03-3896-7115
<http://www.kurohime.co.jp/>

お問い合わせ先

0800-222-3131
今すぐお電話を(フリーダイヤル)

「がれき処理」754万ト完了

災害廃棄物処理、除染

2011年3月11日に起きた東日本大震災による津波で、膨大な量の災害廃棄物が発生した。特に被害の大きかった沿岸市町村の災害廃棄物については、災害廃棄物推計量の約46%の処理が完了。環境省は14年3月の処理完了に向け、処理を加速化させることにしている。

再生利用83・4%

東日本大震災の発生から間もなく2年。復興に向けて災害廃棄物の処理が現在も行われている。東日本大震災で特に被害の大きかった岩手、宮城、福島、福島の被災3県の沿岸市町村。環境省によると、3県沿岸市町村の災害廃棄物推計量1628万1000トのうち、13年1月末現在、中間処理施設での破碎・選別、焼却などによって46・3%に当たる754万3000トの処理が完了。県別の災害廃棄物推計量に対する処理割合は岩手が36・5万7000トに対して38・8%、宮城が1102万6000トに対して51・1%、福島が159万9000トに対して30・9%となっている。3県沿岸市町村で処理が完了した量の内訳は、再生利用が全体の83・4%に当たる628万9000ト。この他、焼却処理量が93万3000ト、埋め立て処理量が28万ト、焼却(燃料利用)が4万1000ト。



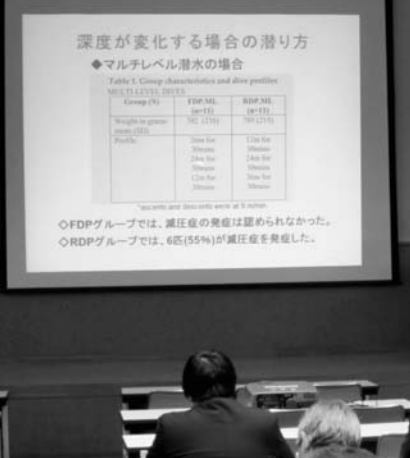
2月1日に福島県南相馬市塚原地区でがれき撤去が始まった

取り組みを加速

こうした中、環境省は13年1月25日に14年3月の災害廃棄物処理完了に向け、処理の加速化に関する取り組みをまとめた。岩手、宮城両県については、広域処理を含めた処理先の調整を12年度内

に完了し、全ての処理先を確保する。不燃混合物、津波堆積物については、特に加速化が必要としている。そのため、処理施設の増強、復興工事

での利用など再生利用を拡大。必要に応じて再生資材の保管場所の確保



12年11月に都内で行われた「潜水作業セミナー」

12年11月に都内で行われた「潜水作業セミナー」を実施している。12年11月20日に東京都内で行われたセミナーでは、深度が変化する場合の潜り方などについて講義が行われ



一般産業物の焼却灰などの一時保管施設(千葉県印西市)

復興庁と環境省は13年度分として引き続き実証

復興の大前提「除染」

国や市町村中心に

地球環境

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故で放射性物質が飛散し、重大な環境汚染が発生した。国や市町村が主体となっており、放射性物質による被ばくを防ぐための除染作業を進めている。除染は復興の大前提であり、適正かつ効率的な対応が求められている。

除染は2012年1月1日に全面施行された放射性物質汚染対処特措法に基づき、国や市町村が中心となっており、除染を進める地域には、同原子力発電所に近く被ばく線量が非常に高い地域(除染特別地域)と、1時間当たり0・23マイクロシーベルト以上の地域(汚染状況重点調査地域)の二つがある。



福島県南相馬市が高倉地区で行っている道路の除染作業

技術提案15件実証
汚染廃棄物も課題

今後の除染作業に活用できる技術の実証試験が展開されている。環境省は12年度分として15件の技術提案について実証試験を行っており、13年3月中に結果をとりまとめ、試験結果の評価を行う予定。対象物と手法は次の通り。路面・コンクリートには、超

高圧水洗浄と切削の二つの手法で実証する。土壌には表面剥ぎ、汚泥には

焼却。そして有機物には炭化や減容、焼却、洗浄

の四つの手法でそれぞれ取り組む。焼却灰には固

化・不溶出化の手法を活用する。

復興庁と環境省は13年度分として引き続き実証

試験対象技術は5月24日まで公募し、10件程度を採択する予定だ。

環境のことを、資源のことを。

まえむきに考えて、ひたむきに実行。

頭の上も 足の下も

たとえば、一般道路の上を走る高速道路。地下に張り巡らされた下水道。社会を支えるインフラづくりに、セメントは欠かせません。

太平洋セメント www.taiheiyo-cement.co.jp

私たちの 資源置場

捨てればごみ、使えば資源。家庭用のごみ置場も私たちにすれば大切な資源置場です。しっかり回収し新しい生命を与えます。

太平洋セメント www.taiheiyo-cement.co.jp

世界で 地産地消

セメントはインフラづくりに欠かせない基礎資材です。環太平洋に配した私たちのセメント工場が、各国・各地の発展と成長をお手伝いしています。

太平洋セメント www.taiheiyo-cement.co.jp

コンクリート 百貨店

草花が生えてくるもの、鉄に負けないぐら強いもの、水に浮かぶもの。常識を「変える」コンクリートを発明する。私たちの仕事です。

太平洋セメント www.taiheiyo-cement.co.jp

保管容器 あります

放射性廃棄物の処理・処分を研究して30年。その成果がコンクリート製容器、PIC容器、鋼製角型容器です。耐久性に富み、放射線の遮蔽効果に優れています。

太平洋セメント www.taiheiyo-cement.co.jp

エネルギー 優等生

セメントをつくる時、エネルギー資源を上手に活用することにかけて、私たちは世界の中でも優等生。これからもさらなる効率化をめざします。

太平洋セメント www.taiheiyo-cement.co.jp